
日本体育・スポーツ史 学会 会報

Japan Society of the History of
Physical Education and Sport

No. 231, 2025. 8. 19.

日本体育・スポーツ史学会事務局
<http://www.taiikushi.org>

〒186-8688
東京都国立市富士見台 4-30-1
東京女子体育大学
藤坂由美子研究室内
Tel : 042-505-7264
taiikushi_office@taiikushi.org

事務局への連絡は、なるべく
e-mail をご利用ください。

<目次>

- I. 日本体育・スポーツ史学会第 14 回大会の報告
- II. 日本体育・スポーツ史学会総会（2025 年度）報告
- III. 2025 年度日本体育・スポーツ史学会研究助成の採択結果報告
- IV. 日本体育・スポーツ史学会研究奨励賞（第 41 号）の選考結果報告
- V. 日本体育・スポーツ・健康学会の諸委員会委員（体育史専門領域）
- VI. 日本体育・スポーツ・健康学会第 75 回大会における専門領域企画（予告）
- VII. 『体育史研究』編集委員会より
- VIII. 年会費納入のお願い
- IX. 事務局からのお願い

I. 日本体育・スポーツ史学会第 14 回大会の報告

日本体育・スポーツ史学会第 14 回大会は平塚卓也会員（奈良女子大学）のお世話により、5 月 31 日（土）および 6 月 1 日（日）の両日、奈良女子大学文学系 N 棟において開催され、一般研究発表 7 演題と学会企画が実施されました。学会企画では、黒須朱莉会員（びわこ成蹊スポーツ大学）による研究成果報告がありました。（参加者：48 名）

以下に学会大会 2 日間における発表者と演題を報告します。

〔一般研究発表〕（発表順）

- 1) 1970 年代における保健教材研究会の授業研究に関する一考察
近藤雄大（津山工業高等専門学校）
- 2) 「組体操」に関する一考察 ―ピラミッドの巨大化に対する新たな問い―
○鈴木秀人（東京学芸大学）、小松恒誠（山形大学）
- 3) 陸軍戸山学校における研究の動向 偕行社記事と同校機関誌を中心に
木下秀明（元 日本大学）
- 4) 学制公布以前の時代における郷校（都城縣）の課目（体操）と師員：明治初期・都城縣の地方史料・郷校関係史料を手掛かりに

- 榎原浩晃（福岡教育大学）、田端真弓（長崎大学）
- 5) 戦前の日本におけるスキーの大衆化と鉄道の関わり
新井 博（日本福祉大学）
- 6) 1936年ベルリンオリンピックと日本のサッカーレフェリー
○関口雄飛（日本体育大学）、赤坂 修（阪南大学）
- 7) 元ナチ親衛隊所属トップアスリートの戦後
ーオーストリアパドルスポーツ連盟とリットシュタイガーー
鈴木明哲（東京学芸大学）

〔学会企画〕

演題：博士論文で「書いたこと」と「書くこと」を振り返る

演者：黒須朱莉（びわこ成蹊スポーツ大学）

司会：來田享子（中京大学）

II. 日本体育・スポーツ史学会総会（2025年度）報告

2025年度日本体育・スポーツ史学会総会を、第14回大会終了後（6月1日）に、奈良女子大学で行いました。2024年度収支決算報告（案）、2025年度事業計画（案）、2025年度予算（案）が審議され、すべて承認されました。また、2025-2026年度役員選挙結果が報告され、承認されました。役員は以下のとおりです。

〔2025-2026年度 学会役員〕

鈴木明哲（会長）

秋元 忍（副会長、「体育史研究」編集委員長）

崎田嘉寛（「体育史研究」編集担当）

後藤光将（会計）

藤坂由美子（事務局長）

黒須朱莉（HP担当）

木村華織（「体育史研究」印刷、会員メルマガ担当）

村井友樹（幹事）

新井 博（監事）

來田享子（監事）

なお、総会資料および総会議事録については本学会ホームページにパスワード付で掲載済みです。パスワードは2025年7月1日にメールマガジンで会員のみに配信しました。

III. 2025年度日本体育・スポーツ史学会研究助成の採択結果報告

赤坂修会員の「日本サッカー審判員制度の歴史的変遷～天皇杯の発展に着目して～」および近藤雄大会員の「戦後日本の中等教育における保健科の成立史像再考」の2件が採択されました。

IV. 日本体育・スポーツ史学会学研究奨励賞の選考結果報告

※ 対象：『体育史研究』第41号（2024年3月発行）掲載論文

〈原著論文〉石立克己『『帝国青年』（1916-1922）にみる奥寺龍溪のボーイスカウト論に関する研究』が受賞しました。

V. 日本体育・スポーツ・健康学会の諸委員会委員（体育史専門領域）

2025-2026年度の日本体育・スポーツ・健康学会諸委員会、研究部会の委員が以下のとおり決定しました。

政策検討・諮問委員会委員：出雲輝彦（東京成徳大学）〔新規〕

若手研究者委員会委員：黒須朱莉（びわこ成蹊スポーツ大学）〔継続〕

応用（領域横断）研究部会委員

・スポーツ文化研究部会：中村哲也（高知大学）〔新規〕

・学校保健体育研究部会：藤川和俊（東京国際大学）〔新規〕

・競技スポーツ研究部会：石塚創也（日本スポーツ協会）〔新規〕

なお、生涯スポーツ研究部会および健康福祉研究部会には、体育史専門領域は参画しないこととなりました。

VI. 日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会における専門領域企画（予告）

日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会は2025年8月27日（水）から29日（金）まで、日本体育大学世田谷キャンパスにおいて開催されます。体育史専門領域では、キーノートレクチャー1演題および一般研究発表9演題を予定しています。

1. 体育史専門領域キーノートレクチャー

日時：8月27日（水）10:45～11:45

会場：日本体育大学 世田谷キャンパス 教育研究棟2階 2201教室

テーマ：植民地の身体と鍛錬 — 『健康朝鮮』から見えるもの—

演者：林 采成（立教大学）

司会：佐々木浩雄（龍谷大学）

2. 一般研究発表

日時：8月29日（金）9:00～15:50

会場：教育研究棟2階 2201教室

発表9演題

（詳しくは日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会ウェブサイトを参照ください）

VII. 『体育史研究』編集委員会より

『体育史研究』第43号（2026年3月発行予定）への投稿をお待ちしています。第43号の投稿締め切り日は、2025年9月30日です。

なお、『体育史研究』への投稿の受付と審査は年間を通して行われ、各年度の投稿締め切り日は9月末となっています。投稿の手続きについては、『『体育史研究』投稿規定』（学会ホームページ [「体育史研究」→「投稿・編集規定」]）をご覧ください。

『体育史研究』への投稿の宛先

1) メールでの投稿

日本体育・スポーツ史学会『体育史研究』編集委員会事務局：editorial_office@taiikushi.org

2) 郵送での投稿

〒060-0811

北海道札幌市北区北 11 条西 7 丁目

北海道大学大学院 教育学研究院

崎田嘉寛研究室内 『体育史研究』編集委員会

Ⅷ. 年会費納入のお願い

学会の年会費を銀行口座からの自動引き落としにしていない会員の皆様は、下記のゆうちょ銀行口座へ送金してください。2024,2025 年度の年会費が未納の方は、早急に送金をお願いします。

①郵便振替を利用される場合

記号番号 00180-0-386444 加入者名 体育史学会

②銀行振り込みを利用される場合

ゆうちょ銀行総合口座

10020 76030671 口座名義 体育史学会

Ⅸ. 事務局からのお願い

所属や連絡先に変更が生じた方は、登録内容変更の手続きをお願いいたします。

①日本体育・スポーツ・健康学会会員の方

→ 日本体育・スポーツ・健康学会の会員マイページからログインし、「プロフィール編集」へ

②日本体育・スポーツ・健康学会の会員ではない方

→ 日本体育・スポーツ史学会の事務局へ（連絡先は会報の冒頭部分をご参照ください。）

以上